

校外教育 研究紀要

<研究主題>

地域や学校の特色を生かした体験活動による
心豊かな児童の育成



熊谷市立江南南小学校



〒360-0103

埼玉県熊谷市小江川1881番地

TEL 048-536-1305

FAX 048-536-3084

E-mail mina001@konanminami-e.ed.jp



ほたなん

1 学校概要

本校は、埼玉県北部にある熊谷市の南部に位置し、明治19年（1886年）に開校された歴史と伝統のある学校である。また、本校は林や田畑に囲まれているとともに、30,357㎡の敷地を持つ校内には、120本の桜のほか、様々な木々が生い茂る自然豊かな環境をもった学校でもある。全校児童は、329名、14学級（通常学級12、特別支援学級2）の中規模校である。明るく素直な児童が多く、豊かな自然環境の中、のびのびと学習活動に取り組み、「夢と志を育む学校」を合言葉に、全職員が一丸となって「知・徳・体」のバランスの取れた児童の育成に取り組んでいる。

2 研究の概要

（1）研究テーマ

地域や学校の特色を生かした体験活動による心豊かな児童の育成

（2）テーマ設定の理由

本校は、豊かな自然環境に恵まれており、校内外を活用した体験活動や地域との交流も行われてきていた。そこで、この環境を生かした体験活動による教育活動をさらに充実させ、改めて地域や学校のよさを再認識するとともに、地域との連携を深めることを通して心豊かな児童の育成を目指していくと考え、本研究テーマを設定した。

（3）研究のねらい

学校内外での学習や活動での体験活動を通して、自然や地域の人材との交流する機会を増やし、児童の豊かな心や学校・地域への愛着心の向上を図る。

（4）研究計画

- 4月 年間計画の作成・竹の子皮むき
- 5月 ミニトマト・夏野菜等の苗植え
- 6月 田植え体験・トウモロコシの皮むき
- 7月 おもちゃ作り（放課後子供教室）
- 9月 愛の家訪問（中止）
- 10月 稲刈り体験・勾玉づくり（放課後子供教室）・江南文化祭（展示のみ）
- 11月 3校合同防災訓練（中止）・ブロッコリー農家見学
- 2月 ありがとう集会（中止）
- 3月 研究紀要の作成



3 研究の取組

（1）校内での野菜作り・一鉢栽培

①学年園・学校園では、2年生と3年生、なかよし学級が野菜づくりに挑戦し、夏は、ナスやキュウリ、ピーマン、トマト、オクラ、枝豆、えんどう豆、サツマイモなどの栽培を生活科や総合的な学習の時間を中心に取り組みました。また、冬は、ホウレン草や小松菜、大根などの栽培に挑戦しました。例年は、地域の畑の先生（学校応援団）をお招きし、土づくりから苗の植え方、支柱の設置、育て方などの準備や指導を行っていただき、



地域の人材を活用、交流を通して食に関する様々な大切さを学ぶことができるとともに、児童が自主的な水やりや定期的な除草活動を通して、野菜の成長具合の観察や収穫の喜びを味わうことができました。



- ②一鉢栽培を1年生から3年生までが取り組み、1年生はアサガオとチューリップ、2年生はミニトマト、3年生はハウセンカを育てています。本校の伝統として、3年生で育てたハウセンカと、1年生で育てたアサガオの種は、次の年の学年にプレゼントとして引き継がれ、毎年、校内を美しく賑わせています。また、1年生アサガオは、つるを使ってリース作りにも挑戦しました。

(2) 栄養教諭による地域野菜を取り入れた活動

- ①栄養教諭の指導による野菜の皮むき体験を実施。4月には2年生による竹の子の皮むき体験、6月には1年生によるトウモロコシの皮むき体験を行い、それぞれの児童がむいた野菜は、その日や次の日の給食の素材として使われ、全校の児童が食べることを毎年楽しみにしています。体験を通して、収穫時の野菜の姿や大きさ、新鮮な野菜のにおいや皮むきの手間の大変さなどを学ぶことができ、食への関心や意識の向上、愛着や感謝の気持ちなど、様々な学びへと繋がりました。



(3) 地域農家の協力による体験活動

- ①田植え・稲刈り体験を5年生が総合的な学習の時間の中で実施。地元の農事組合の方のご協力により、学校の近くの田を使って6月に田植え体験、10月に稲刈り体験をさせていただきました。苗の扱い方や植え方、稲の刈り方や束ね方など、米作りの一部ではありますが、手間のかかる作業を行うことによって、米作りの大変さを体験できました。また、登下校時に田を見ることにより、自分たちの植えた苗の成長を喜び、収穫の楽しみや一粒一粒を大事に扱おうとする気持ちを自然ともつことができました。



- ②ブロッコリー農家の見学を3年生が総合的な学習の時間の中で実施。地域で野菜作りをしている農家の方のご協力により、野菜作りの工夫から野菜の収穫や箱詰めの様子などを実際に見せていただいたり、体験したりすることができました。また、どこへどのように販売されるかなどを教えていただきました。子供たちは、収穫されたたくさんの野菜は、大きさや形などによって売り物になるものとそうならないものがあることを知ったり、手際の良い箱詰め作業などを見て歓声をあげたりしていました。この見学により、農家の方々は、見えないところで工夫や努力を重ねていることを学んだり、フードロス問題についても考えることができました。



(4) 小中学校の取組による地域との連携

- ① 3校合同防災訓練を年に1回、江南地区の小学校2校と中学校1校にて実施。(今年度は中止。)地震を想定とした訓練で、小学生が安全に帰宅するために中学生による付き添いを要請したり、地域の施設や高齢者宅へ中学生が訪問し、安全確認や救助活動にあたりたりする訓練を行っている。この活動を行うことにより、災害時の避難の仕方を確認することはもちろん、継続することにより小学生と中学生と地域の人々がお互いのことを知るとともに、地域の繋がりを深めることができています。



(写真は令和元年度)

(5) 地域の人材活用による体験活動

- ① おもちゃ作り(放課後子供教室) 7月実施。
・地域に住む元校長先生による動くおもちゃやペットボトルロケット作り
- ② 愛の家訪問(4年生総合的な学習の時間) 9月(今年度は中止)
・高齢者福祉施設への訪問。歌や合奏、学習成果の発表。利用者とのふれあい。
- ③ 江南音頭練習(運動会全校ダンス)
・江南音頭保存会の方々による指導。運動会で全員が踊りました。
- ④ 勾玉作り(放課後子供教室) 11・12月実施。
・地域にある文化財センターの見学と職員による勾玉作り指導
- ⑤ 書きぞめ指導(3年生書写) 12月実施。
・地域の書道教室の先生が初めての書きぞめを指導
- ⑥ ありがとう集会(全校) 2月(今年度はお手紙配付のみ)
・登下校の見守りをして下さる方へ感謝する会
- ⑦ 読み聞かせ(読書タイム・昼休み) 各月実施。
・地域の読み聞かせグループ「せせらぎの会」と「ひだまりの会」による読み聞かせ、手遊び、パネルシアター等



4 成果と課題

(1) 研究の成果

- ・学校内の畑や花壇、地域の田畑など、校内外の環境を有効に活用し、自然環境を生かした体験活動を充実させたことにより、自然を大切にしたり、植物の世話や成長を楽しみにしたりすることができ、豊かな心を育むことができた。
- ・地域の人材を活用することにより、専門的な知識や経験による指導や環境作りなどの協力をいただくことができ、児童にとって充実した体験活動ができた。

(2) 今後の課題

- ・地域や学校応援団の方々の高齢化が見られるので、新たな人材の確保が必要である。コロナ禍で保護者の学校応援団の活用は、お願いしづらかった。
- ・例年行っていた行事や活動で実施できなかったものがあり、教職員の異動等により、準備するものや活動の仕方、指導いただく方との連絡方法などをしっかりと引き継いでいく必要がある。